

2017年5月21日

1. 経済認識

- アジア太平洋地域は、グローバル化や自由貿易の利益に対する疑念を持つ人々が増大し、世界経済の回復や経済統合プロセスに強い影響を与え得る保護主義傾向の広がりがみられる。
- 我々は、開発、成長、繁栄の共通目標を達成するために、貿易投資の自由化・円滑化の促進と経済技術協力を強化するというコミットメントを再確認する。
- 持続的、包摂的かつイノベーティブな成長を伴う、より回復力のあるグローバル経済及び地域的経済を創出するため、多層的な取組の強化と調整が喫緊に求められる。

2. 多角的貿易体制の支持

- 我々は自由で開かれた貿易を達成することへのコミットメントを再確認し、WTO に体现された、ルールに基づいた、透明性のある、無差別的な多角的貿易体制の効果的な機能を確保することの重要性を強調する。
- 我々は、2020年末までの延長に合意したスタンスティル（新規の保護主義の不導入）へのコミットメント及び保護主義・貿易歪曲措置のロールバック（是正）を通じ、あらゆる形態の保護主義に対抗するとのコミットメントを再確認する。
- 同時に、貿易の便益を享受するためにレベルプレイングフィールド（公平な競争条件）の確保を求める。
- 我々は貿易円滑化協定及び知的所有権の貿易関連の側面に関する（TRIPS）協定を改正する議定書の発効を歓迎する。

3. 2020年及びそれ以降の APEC

- 我々は、進捗に偏りのある領域の作業を加速化することを事務レベルで支持し、ボゴール目標の達成に向けて、緊急且つ具体的な活動を慫慂する。
- 我々は、一連の対話を通じて APEC の2020年以降のビジョンを発展させるプロセスを前進させる時が来たことに合意する。

4. アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）

- 我々は、地域経済統合を実現する主要な手段として、将来の FTAAP の実現に向けたプロセスを前進させるコミットメントを再確認する。
- 我々は、関税、非関税措置、次世代貿易投資課題、サービス、投資及び原産地規則等の作業を前進させる複数年ワークプログラムの策定に向けた前進を歓迎。本年末までに、作業計画の完成を期待する。